

## 年頭所感等の読後感（読者からの手紙）

見性院新信徒Aさんより

花の都パリにいかれたのですね。旅は心と視野を広くしますね。とても穏やかな顔をされています。フォトジェニックなのでSNSなどもっと活用されてはいかがですか？きっと若い世代からも支持を得られるのではないのでしょうか？たくさんの支援者、優秀なスタッフの助力と寛大なご家族に囲まれてお幸せですね。大いに説得力のある生き字引のご住職に、反対者は誰も太刀打ちできないでしょう。いったい何が不満なのか聞いてみたいものです。おっしゃる通り、残りの人生自分のやりたいことをして穏やかに生活したいものです。またの執筆楽しみにしています。

さいたま市在住信徒Bさんより

(前文略)

年頭所感(その1～4)拝読させていただきました。大変共鳴できる内容です。何か協力できる術はないものかと思う次第です。以前、浦和に見性院の別院ができるような事をおききしましたが、その際は協力させて頂きたくお願い致します。

石材店代表取締役Cさんより

(前文略)

橋本住職とは五年前に鎌倉新書忘年会にて名刺を交換させていただきました。御住職の著書を読ませていただき現代のお寺が本来あるべきすがたではないことを多くやっておられる。見性院様は本当のお寺の姿を実行していると感じます。

この度のDVD番組存じあげませんでした。観ていて「その通り」と何度も頷きました。

ロゴマーク一目で見性院様と分かり内容深いマークで将来若い方々がワッペン等に貼って流行ると良いですね。

年頭所感についてその3、4は正に時代に合わないことに気付いていない制度です。町内会の名誉と勘違いをしていますし、宗教的ではないことは自明の理です。私の地域でも多くの寺院があります。一昨年、御主人を亡くなされた方がご来店されました。その時の相談として、近隣ではない全うにやっておられるお寺様はご存知ありませんかとのことでした。私の生業も石を売るだけでなく、過去の先人に感謝し今がありこれからの繁栄を願うことです。お客様や誰よりもこれを一番の信念として仕事をしていかなければならないと確信しております。橋本住職として十年の節目そして次なる十年で、全仏教、全寺院のモデルとなって素晴らしい制度を築きあげて下さいますよう心より御支援申し上げます。見性院様の御隆盛と橋本住職のますますの御活躍を御祈念申し上げます。

見性院新信徒Dさん

奥深い宗教の世界は全く存じませんが、感情みなぎる文面を読む限りそんなに強硬に異を唱える方々がおられるのですか？気になるところです。確かに暇さえあれば他人に関心を持ち、人の噂が大好きな人達は今だいますが、そんなことにしか興味を見いだせないなんて悲しいですね。もし、

一檀家として心の拠り所が寺院一色だとしたら、新参者は煩わしく歓迎できないのかもしれませんが、全く時代に即してないですね。視界が狭く、物事を柔軟に考えられないのは、土地に深く根付いて小さな世界でしか生きてこなかったからではないでしょうか？説得するのは難しいかな、と私も思います。今だ歴史上の制度が残っているのは、宗教が神聖な領域であり、誰もが畏れ多く踏み入れることができなかつたからではないでしょうか？単純に、聖域とは一体どんな処なのでしょう？檀家制度に賛同できない者はどこへ向かえば良いのでしょうか？寺院の在り方は本来どう在るべきなのでしょう？現実を見据えた上でビジネス化していくことは生き残りの手段であり、それができないなら、人の事業に関わらないで守りの態勢として努力と工夫をされたらいかがでしょうか？素人目にして甚だお門違いのように思われます。原生林を切り開けるのは、唯一真の聖職者のみだと思います。ご自身を信じ、未来の仏教界のパイオニアになって下さい。